

令和5年5月2日

出雲市議会議長 様

会 派 名 真誠クラブ

代表者氏名 川上 幸博



(署名又は記名押印)

視察研修について (届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	令和5年 5月17日 ～ 令和5年5月19日 (3日間)	
2. 視察研修先 及び視察研修 目的	(5月17日) 「総務省」研修会 衆議院第2議員会館にて  (5月18日) 農研機構の視察研修 (つくば市)	以下について研修 ○マイナンバーカードのさらなる普及促進 ○郵便局を活用した地方活性化方策  農研機構の中の各種施設見学及び意見交換会
3. 参加者	川上幸博、萬代輝正、板垣成二、伊藤繁満、寺本淳一 児玉俊雄、今岡真治、高橋扶治夫、福田実 計 9 名	
4. 添付書類	行程表 (別紙)	



真誠クラブ視察研修日程表(令和5年5月17日～5月19日)

5月17日(水)		備考
8:50	集合) 出雲空港	
9:25	空路) 出雲空港 9:25発⇒羽田空港 10:45着	
11:20	移動) (モノレール空港快速) 羽田空港第一ターミナル11:20発⇒浜松町11:38着	JAL278便
	移動) 浜松町北口タクシー乗り場より衆議院第2議員会館へ	
12:30	昼食) 衆議院第2議員会館	
14:00	研修) 総務省 ①「マイナンバーカードのさらなる普及促進」	衆議院第2議員会館
16:00	②「郵便局を活用した地方活性化方策」	地下1F第9会議場
	移動) ホテルチェックイン	
16:30	宿泊) 赤坂エクセルホテル東急(千代田区永田町2-14-3)	TEL 03-3582-2311
18:30	夕食懇談会) 赤坂「ながとも」(港区赤坂4-2-3ディアシティ赤坂一ツ木館1F)国会議員6名	TEL 03-6277-8710
5月18日(木)		
10:00	出発) ホテル	
	移動) 貸切マイクロバスにて	
12:00	昼食) ホテル日航つくば内(レストランセリーナ)	ホテル荷物預け
13:30	移動) 貸切マイクロバスにて	
14:00	農研機構(茨城県つくば市観音台3-1-1)にて研修	堺田元副市長
16:00	宿泊先へ移動) ホテル日航つくば(茨城県つくば市吾妻1丁目1364-1)	TEL 029-852-1112
18:00	夕食懇談会) 蓮屋権左衛門(つくば市吾妻1-5-7)	TEL 029-811-6010
5月19日(金)		
10:00	出発) ホテル	
	移動) 貸切マイクロバスにて	
12:00	昼食) 汐留エリア 鮎「美寿思」	TEL 050-5890-9889
14:15	空路) 羽田空港 14:15発⇒出雲空港 15:40着	JAL283便

令和5年5月25日

出雲市議会議長 様

会 派 名 真誠クラブ

代表者氏名 萬代輝正



(署名又は記名押印)

視察研修について (報告)

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

1. 日 程	令和5年5月17日～令和5年5月19日 (3日間)	
2. 視 察 研 修 先 視 察 研 修 目 的	5月17日 「総務省」研修会 衆議院第2議員会館にて  5月18日 農研機構の視察研修 (つくば市)	研修内容 ○マイナンバーカードのさらなる普及促進 ○郵便局を活用した地方活性化方策  農研機構内の各種施設見学及び意見交換会
3. 参 加 者	萬代輝正、川上幸博、板垣成二、伊藤繁満、寺本淳一 児玉俊雄、今岡真治、高橋扶治夫、福田実 計 9 名	
4. 添 付 書 類	1. 行程表 2. 報告書 3.	



## 真誠クラブ視察研修報告書

第1日目（5月17日）

衆議院第2議員会館にて総務省から担当の方3名による研修並びに意見交換会をした。

総務省自治行政局 住民制度課 マイナンバー制度支援室	芳賀 健人様
総務省大臣官房付併任自治行政局 行政経営支援室	志賀 真幸様
総務省情報流通行政局 郵政行政部 企画課	芥 唯一郎様

### ① マイナンバーカードのさらなる普及促進について

5/15時点で、累計の申請件数は9,684万、人口に対する割合76%を超え、同時点での交付件数は8,932万、人口に対する割合は70%を超えたところである。介護が必要な高齢者や子どもなどマイナンバーカードがまだ取得できていない方への対応が非常に重要になってきている。

今後は、特急発行・交付の仕組みの創設や代理交付・申請補助等の見直しや施設・学校等への出張申請受付の実施に積極的に取組んでいく予定である。またマイナンバーカードの活用シーンの拡大に積極的に取組んでいるところであり、マイナンバーカードの電子証明書を資格等の情報に紐づけることにより、マイナンバーカードを各種カードとして利用できるデジタル社会の実現に向けた取組を推進していくとのことであった。

### ② 郵便局を活用した地方活性化方策について

郵便局は、全国に約24,200局設置されているが、日本郵便株式会社法により、日本郵便は、あまねく全国において利用されることを旨として郵便局を設置しなければならない責務を負っている。また省令により、いずれの市町村においても、一以上の郵便局を設置しなければならないが、過疎地においては、改正民営化法施行時の郵便局ネットワークの水準を維持することを旨とする義務を負っている。

郵便局では、様々な自治体窓口事務を取り扱っており、令和5年3月末現在、その合計は431自治体、6,053郵便局である。これらには自治体が発行する証明書（住民票の写し等）の交付事務等の郵便局事務取扱法に基づき受託する事務、自治体独自の事務、その他の行政事務が含まれている。令和6年秋のマイナンバーカードと健康保険証の一体化（健康保険証廃止）の方針が示されたことを受け、カードの交付申請受付等を実施できる場所を拡充する必要があり、あまねく全国に設置されている郵便局においてもマイナンバーカードの交付等の手続きを行うことを可能にしようとするものである。

制度改正のねらいは、国民の利便性向上による負担軽減と行政運営の効率化にある。またさらに郵便局ネットワークを活用した地域に根ざした取組が必要であり、地域交通施策（地域MaaS）や統計調査における郵便局との連携や郵便局と自主防災組織等の連携促進など、今後、郵便局の強みを活かした地域活性化方策はたくさん考えることができるのである。

以上、総務省の担当者と研修会並びに意見交換会をし、大変有意義で参考になるお話が聞けたことに心より感謝申し上げたい。

第2日目（5月18日）

茨城県つくば市にある農研機構（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構）は、我が国の農業・食品産業が直面する諸課題を克服して近未来に実現を目指すあるべき姿として、1、食料自給率向上と食料安定保障 2、農産物・食品の産業競争力強化と輸出拡大 3、生産性向上と環境保全の両立、の3つを掲げ、農業・食品産業における Society5.0 の深化と浸透により、科学技術の面から目指すべき姿の実現をすすめ、持続的な農業の実現および地方創生、ひいてはSDGsの達成に貢献しようとするものである。

機構組織は本部があり、その下に基盤技術研究本部、セグメントⅠ～Ⅳまでの5つの研究部門に分かれ、年間予算額約700億円、役職員3,279名（うち研究職員1,747名）で研究開発が行われている。

今回視察させて頂いたのは本部に属する「食と農の科学館」、基盤技術研究本部の中の「ジーンバンク」、セグメントⅢの中の「植物工場・つくば実証拠点」の3か所で、内容の濃い説明を受けながらの視察だったが、終了後には意見交換会がありさらに理解を深めることができた。

今回の農研機構の視察で、私は農業・食品産業は「伸びしろの大きな成長産業」だと感じ、地方創生を促進するとともに、我が国の経済成長に貢献できるものと自分の中に意識付けできた。農研機構の皆様には大変お世話になりましたこと、心より感謝申し上げたい。

令和5年5月26日

出雲市議会議長様

会派名 真誠クラブ

代表者氏名 萬代輝正



## 視察研修について(届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日程	令和5年8月23日～8月25日	
2. 視察研修先 視察研修目的	8/23 ニセコ	ニセコ新庁舎 ●新庁舎見学 躯体外皮性能0.18W/m <sup>2</sup> ・K性能説明・体感
	8/24 ニセコ	ニセコ共同住宅・まちづくり街区 ●省エネ共同住宅見学、研修会 ●ニセコ持続可能なまちづくり視察
3. 参加者	萬代輝正・寺本淳一・今岡真治	
4. 添付書類	行程表(別紙)	



## 真誠クラブ視察研修工程表

### ①8月23日(水)

- 7:45 出雲空港発 JAL276便 羽田空港へ
- 9:10 羽田着
- 9:45 羽田発 JAL509便 新千歳空港へ
- 11:20 新千歳空港着
- 11:30 専用バスにて新千歳空港発
- 13:30 ニセコ新庁舎着  
ニセコ新庁舎見学～特別セミナー
- 18:00 参加者、(株)WELLNESTとの意見交換会  
ホテル泊

### ②8月24日(木)

- 9:00 ホテル出発  
ニセコ共同住宅見学～高橋牧場見学～まちづくり街区視察
- 14:30 専用バスにてニセコ出発
- 17:00 新千歳空港着  
ホテル泊

### ③8月25日(金)

- 12:00 新千歳空港発 JAL3426便 出雲空港へ
- 13:55 出雲空港着

令和5年10月12日

出雲市議会議長様

会派名 真誠クラブ

代表者氏名 萬代輝正



## 視察研修について(報告)

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

1. 日程	令和5年8月23日～8月25日	
2. 視察研修先 視察研修目的	ニセコ新庁舎	環境に配慮した施設
	ニセコ集合住宅	高断熱住宅の実証実験
	まちづくり街区	環境配慮型街区「ニセコミライ」
3. 参加者	萬代輝正 寺本淳一 今岡真治 計 3名	
4. 添付書類	1. 工程表 2. 報告書	





## 真誠クラブ視察研修工程表

### ①8月23日(水)

7:45 出雲空港発 JAL276便 羽田空港へ  
9:10 羽田着  
9:45 羽田発 JAL509便 新千歳空港へ  
11:20 新千歳空港着  
11:30 専用バスにて新千歳空港発  
13:30 ニセコ新庁舎着  
ニセコ新庁舎見学～特別セミナー  
18:00 参加者、(株)WELLNESTとの意見交換会  
ホテル泊

### ②8月24日(木)

9:00 ホテル出発  
ニセコ共同住宅見学～高橋牧場見学～まちづくり街区視察  
14:30 専用バスにてニセコ出発  
17:00 新千歳空港着  
ホテル泊

### ③8月25日(金)

12:00 新千歳空港発 JAL3426便 出雲空港へ  
13:55 出雲空港着

# 行政視察報告書

出雲市議会議長様

令和5年10月12日

委員名 寺本淳一

視察名	真誠クラブ行政視察	
視察期間	令和5年8月23日～25日	
視察先 及び 調査事項	ニセコ新庁舎	環境に配慮した施設
	ニセコ集合住宅	高断熱住宅の実証実験
	ニセコまちづくり街 区	環境配慮型街区「ニセコミライ」

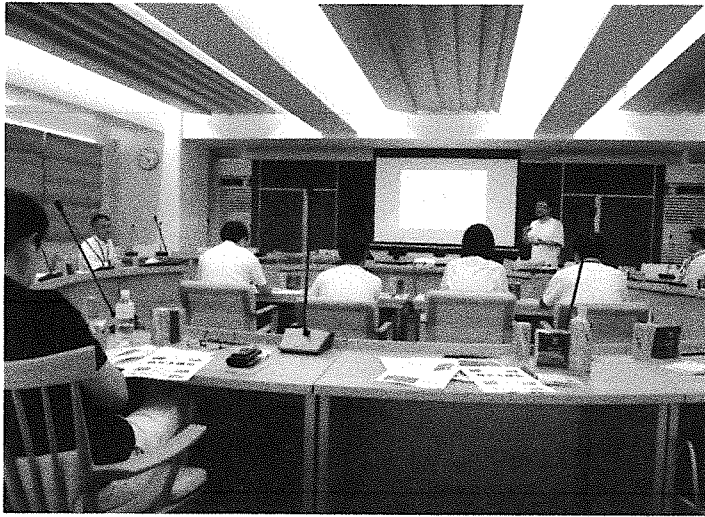
## 視察所感

○ニセコ町新庁舎。(片山町長、(株)ニセコまち 早田氏説明)

ニセコ町は近年、外国人や国内からの移住者が増えてきており住宅不足が深刻な課題であり、また高齢化も進み将来的に住み替えを検討したいという声も多く上がってきています。その理由が、「冬でも暖かい家に住みたい」「除雪や庭の手入れが心配」「光熱費を抑えたい」に集中していました。さらに持続可能なまちづくりを目指し、国から「環境モデル都市」に認定されています。ニセコ町は立地条件などから風力・水力発電には向かず、林業や酪農業も規模が小さいことからバイオマス発電も難しく、再生可能エネルギーの活用もできない状況でした。このような課題を解決するための持続可能な住宅地開発のため、8つのコンセプトが住民参加で策定され、官民連携の会社「(株)ニセコまち」が設立、新庁舎や環境配慮型街区「ニセコミライ」の開発が始まりました。

ニセコ町新庁舎は旧庁舎が50年経過し老朽化も著しいことから防災拠点となりうる新庁舎の整備が必要となりました。また利便性の向上、職場環境の改善、周辺敷地の一体的利用など住民合意の中から整備されています。当日は北海道では過去最高の気温35℃を記録しましたが中に入ると非常に快適でした。特筆すべきはその断熱性能です。新庁舎整備においては、2050年に2015年比86%のCO2排出の削減を目指す目標を掲げてお

り、新庁舎はその象徴的な役割を果たしています。



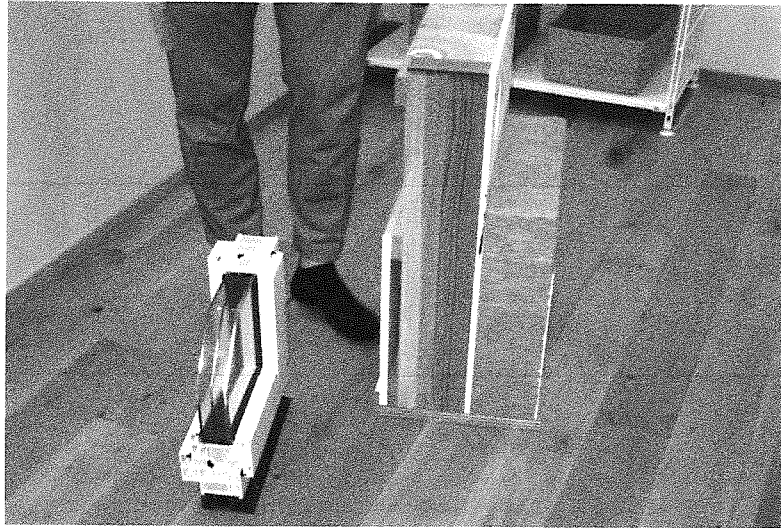
「(株)ニセコまち 早田氏から説明を受ける」

#### ○高断熱住宅の実証実験

(株)ニセコまちが建設した高断熱住宅を見学しました。この集合住宅は断熱性能等級が7であり一次エネルギー消費量の削減率が概ね40%削減するレベルとなっています。内部に高性能グラスウール等を敷き詰め、外壁は独自開発された「ウェルネストウオーク」サッシは「ウェルネストウィンドウ」を使用し世界最高レベルの防火窓として販売される予定です。このような仕様ですので、床面積100㎡程度の空間では8帖から12帖用程度の空調機1台で快適空間を生み出していることは、高騰している電気代も大幅に抑えることができます。まさに「脱炭素」に向けての役割を果たしています。



高断熱住宅（外観）



外壁「ウェルネストウオーク」サッシ「ウェルネストウィンドウ」

○環境配慮型街区「ニセコミライ」

モデル事業となったニセコ町では、地方交付金を活用して「NISEKO 生活・モデル地区構想事業」を実施。開発における前提条件として、①地域課題：人口増加とその後の減少、及び世帯数の増加。多様性：観光だけでない世界の方にとってのニセコ。②地域課題：住宅不足。総合的に記載されたニセコミライへの移住。③地域課題：農村における住民ニーズの変化。④地域課題：温室効果ガスの削減。豪雪地域でも ZEH-M+に挑戦。⑤さらなる脱炭素の追求。を目指し SDGs 街区を指定。2030年までに450人程度が暮らす分譲・賃貸住宅の開発が行われている。片山町長も将来的にはコンパクトシティを実現できればと思いを語られた。完成時にはまた行ってみたいと思う。



ニセコ町が取り組む環境配慮型街区「ニセコミライ」の敷地

令和 6年 1月 11日

出雲市議会議長 様

会 派 名 真誠クラブ

代表者氏名 萬代 輝正

(署名又は記名押印)

視察研修について (届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	令和 6年 1月 22日 ~ 令和 6年 1月 24日 (3日間)	
2. 視察研修先 及び視察研修 目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 於：参議院会館</li><li>・ 於：参議院会館</li><li>・ 於：自民党本部</li><li>・ 於：東京都庁</li><li>於：衆・参両議員会館</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 子ども未来戦略について</li><li>・ ライドシェアについて</li><li>・ 地方創生について</li><li>・ 「気候変動対策」「東京ゼロエミ住宅の取組について」</li><li>・ 要望活動</li></ul>
3. 参加者	計 9名	
4. 添付書類	行程表 (別紙)	




## 真誠クラブ 会派視察行程表

1月22日(月) 1日目		備考
8:40	集合) 出雲空港 移動) 羽田空港へ	
9:25	空路) 出雲緑結び空港【9:25発】⇒JAL278⇒羽田空港【10:40着】	
11:20	移動) (モノレール空港快速) 羽田空港第一ターミナル11:20発→浜松町11:38着 移動) 浜松町北口タクシー乗り場より参議院会館へ	
12:30	昼食) 参議院会館	
13:30 ↓ 15:00	子ども未来戦略orライドシェア	
15:30 ↓ 16:30	於：自民党本部「地方創生について」 講師・尾崎正直衆議院議員（元財務相・高知県知事・デジタル兼内閣府大臣政務官）	
18:00	移動) ホテルチェックイン タクシー) 夕食会場 国会議員5名予定（計14名予定） 宿泊) ヴィアインプライム赤坂（東京都赤坂2-6-17 TEL:03-3505-5489）	※荷物持ち込み 朝食付き
1月23日(火) 2日目		備考
9:30	集合・出発) 宿泊施設 徒歩orタクシー) 参議院会館へ	
10:00 ↓ 11:30	子ども未来戦略orライドシェア	
14:00 ↓ 15:00	移動) 地下鉄→東京都庁へ 昼食) 新宿近辺で探す 東京都庁にて→視察テーマ「気候変動対策について」 視察項目「東京ゼロエミ住宅の取組について」	
18:00	本会議場傍聴席（議事堂7階）から視察、15分程度 後ほど、展望階視察可 夕食) 飯塚市長合流（計10名） 宿泊) ヴィアインプライム赤坂（東京都赤坂2-6-17 TEL:03-3505-5489）	朝食付き
1月24日(水) 3日目		備考
9:30	集合・出発) 宿泊施設 徒歩orタクシー)	
10:00 ↓ 11:30	衆・参議院会館にて会派要望活動 衆議院議員2名 参議院議員3名（国会議員5名）	
13:15 到着後	タクシー) →浜松町→羽田空港第1ターミナル（モノレール） 昼食) 空路) 羽田空港【14:15発】⇒JAL285⇒出雲緑結び空港【15:45着】 解散) 出雲空港	

令和 6年 1月31日

出雲市議会議長 様

会 派 名 真誠クラブ

代表者氏名 萬代 輝正 

(署名又は記名押印)

視察研修について (報告)

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

1. 日 程	令和 6年 1月 22日～令和 6年 1月 24日 (3日間)	
2. 視 察 研 修 先 視 察 研 修 目 的	① 於：参議院会館 ② 於：自民党本部 ③ 於：参議院会館 ④ 於：東京都庁 ⑤ 於：衆・参両議員 会館	① こども未来戦略について ② 地方創生について ③ ライドシェアについて ④ 「気候変動対策」「東京ゼロエミ住宅 の取組について」 ⑤ 要望活動
3. 参 加 者	萬代輝正、川上幸博、板垣成二、伊藤繁満、寺本淳一 今岡真治、高橋扶治夫、福田実  計 8名	
4. 添 付 書 類	1. 行程表 2. 報告書 3.	



(所 感)

① 1月22日(月)13時30～15時まで、参議院会館において「こども未来戦略について」について

長官官房参事官(総合政策担当)付(企画調整係)万木<sup>ゆるぎひろき</sup>尋己主査より、ご教示のち意見交換会」を行いました。こども家庭庁とは長官官房、成育局及び支援局の1官房2局体制。定員については内部部局350名施設等機関80名の430名とのことでした。成育局は、すべての子に支援。支援局は様々な困難を抱えるこどもや家庭に対する年齢や制度の壁を克服した切れ目ない包括的支援を行うと説明を受けました。こどもの定義は18歳や20歳といった年齢で必要なサポートがとぎれないよう、心と身体の発達の過程にある者を「こども」としている。ひらがな表記は年齢で区切らない。何歳になってもサポートが必要な方にはサポートして行くとのことでした。市町村こども計画の策定支援もあり活用して欲しいが申し込みが多い。そして、研修依頼も非常に多いという事で注目度の高さが伺えた。議員からは少子化対策、不登校児童問題、フリースクール支援、発達障害や心の病をかかえるこどもの支援等、幅広い分野の質問。そして、こども家庭庁には内閣府、文部科学省、厚生労働省の職員がおられ、縦割り行政の打破も期待しているとの意見もあった。こども家庭庁には地方自治体からの出向者も60～70人おられ、地方の声もよく聞いて政策に活かしていただきたいと要望いたしました。こども家庭庁所管事業は幅が広く、議員の関心も高く予定時間を延長しての研修になりました。対応していただいた万木様には感謝を申し上げます。

② 1月22日(月)15時30分～16時30分自民党本部5階にて「地方創生について」元高知県知事・

現衆議院議員 尾崎正直様を講師に、高知県知事時代の経験を含めて島根県議会議員、松江市議会議員と合同で研修を行いました。まず始めに、地域創生とは人口減少によって経済も疲弊していく。そこからの脱却を図ることと考えたとのことでした。そこで、地産地消ではなく地産外消を進めたと言う事でした。地産の強化では、新たな付加価値の創造・事業化支援。外商の強化では外商活動の全国展開、輸出振興を行ったとの事でした。アンテナショップについては、売り上げよりも高知の魅力発信に重点を置いた活動。外商を進めるため一般財団法人高知県地産外消公社を設立したとの事でした。



(所 感)

この様な発想での取り組みで地域創生を進めてきたと言う事でした。今後、本市の地域経済活性化においても新しい大胆な発想をもって議論する事も必要かと感じました。他議会の議員との合同での研修でしたが、様々な意見交換会もでき有意義な研修になりました。お忙しい中、講師をしていただいた尾崎正直衆議院議員には感謝申し上げます。

- ③ 1月23日(火)10時～11時30分まで参議院会館において、「タクシー事業者における運転者不足」の資料をもとに、国土交通省 物流・自動車局旅客課主査 水田和貴様からご教示のち意見交換会を行ないました。新型コロナウイルス感染症が5類移行後の各業界での慢性的な人手不足は深刻な問題です。バス、タクシー等の自動車旅客業界でも大きな問題です。今回の研修の中ではアプリを使った交通サービスの利用促進。(国の補助制度あり)。タクシー不足に対する緊急措置では地方部でのタクシー営業所維持のため設備・台数要件の緩和(5台以上)など引き続き、関係者と調整しながら進めていくとの事でした。そして、タクシー不足が指摘されている観光地域の対策として、他の営業区域からの応援による繁忙期対策。例として東京のタクシー会社が北海道ニセコに行っている例があるとの事でした。今後、この様な取り組みの現状を把握、検証して全国展開も考慮していくとの事でした。自家用有償旅客運送制度は市町村やNPO法人などが自家用車を活用して提供する、有償の旅客運送の事。現在は省令により交通空白地有償運送及び福祉有償運送のみが認められており、交通空白地670団体4303車両。福祉2470団体14456車両が認められているとの事でした。運送の対価は法律により実費の範囲内の収受が認められているため、今後タクシーの8割を目安とし運転者の適正報酬を確保するとの事でした。議員からは人材バンク等を立ち上げ運転者不足対策をしてはいかがか等の意見がありました。早急のライドシェア制度の全国展開は難しいと感じましたが、デマンド交通等も含めて今後の本市の公共交通ネットワークに活かして行きたいと思えます。お忙しいところご教示いただいた水田様には感謝申し上げます。

(所 感)

④ 1月23日(火) 14時～15時 東京都議会第13委員会室にて「東京ゼロエミ住宅」について環境局気候変動対策部事業支援担当課長 松沼宏樹様 他2名様よりご教示のち意見交換会を行いました

この取り組みの背景は、都はエネルギーの大消費地の責務として、省エネの更なる深掘りと再生可能エネルギーの基幹エネルギー化による脱炭素化とエネルギーの安全保障を一体に実現するとの事でした。「東京ゼロエミ住宅」の基準を【水準1. 断熱性能、省エネ基準から窓を中心に強化。省エネ性能30%削減、助成金額、戸建て住宅30万円/戸、集合住宅20万円/戸】【水準2、断熱性能ZEH相当。省エネ性能35%削減、助成金額、戸建住宅50万円/戸、集合住宅40万円/戸】【水準3、断熱性能、北海道相当。省エネ性能40%削減、助成金額、戸建て住宅210万円/戸、集合住宅170万円/戸】との事です。都では、助成金の交付申請件数は年々増加、都内・新築戸建て住宅の1割強を占めており、断熱・省エネ性能が最も高い水準3の住宅が全体の半数超、太陽光発電設置割合は約7割との事でした。年間助成予算金額は200億円を超えるとの事でした。議員からは、助成金額等は大きく異なるが本市においても「ゼロカーボンシティ」実現に向けて、今後も再生可能エネルギー普及に向けての取り組みもおこなって行きたい等の意見もありました。お忙しいところご教示いただいた松沼様を始め環境局の皆さま、研修スケジュール等でお世話になった東京都議会議会局管理部総務課庶務担当 坂根悠介様には感謝申し上げます。

⑤ 1月24日(水) 10時～1130分 衆・参両議院会館にて会派要望活動を行いました。

要望事項

- 1、地方財政の充実について
- 2、高規格道路「境港出雲道路」の早期整備について
- 3、山陰道及び国道9号出雲バイパスの整備促進について
- 4、一級河川直轄事業の推進について
- 5、出雲河下港の整備促進及び利活用促進について

(所 感)

6、トキ分散飼育事業及びトキの野生復帰に対する支援について

7、必要な教員の確保について

8、持続可能な農業経営に向けた担い手確保に対する支援について

とても有意義な研修になったと思います。

## 真誠クラブ 会派視察行程表

1月22日(月)	1日目	備考
8:40	集合) 出雲空港 移動) 羽田空港へ	
9:25	空路) 出雲縁結び空港【9:25発】⇒JAL278⇒羽田空港【10:40着】	
11:20	移動) (モノレール空港快速) 羽田空港第一ターミナル11:20発→浜松町11:38着 移動) 浜松町北口タクシー乗り場より参議院会館へ	
12:30	昼食) 参議院会館	
13:30 ↓ 15:00	子ども未来戦略orライドシェア	
15:30 ↓ 16:30	於：自民党本部「地方創生について」 講師・尾崎正直衆議院議員（元財務相・高知県知事・デジタル兼内閣府大臣政務官）	
18:00	移動) ホテルチェックイン タクシー) 夕食会場 国会議員5名予定（計14名予定） 宿泊) ヴィアインプライム赤坂（東京都赤坂2-6-17 TEL:03-3505-5489）	※荷物持ち込み 朝食付き
1月23日(火)	2日目	備考
9:30	集合・出発) 宿泊施設 徒歩orタクシー) 参議院会館へ	
10:00 ↓ 11:30	子ども未来戦略orライドシェア	
14:00 ↓ 15:00	移動) 地下鉄→東京都庁へ 昼食) 新宿近辺で探す 東京都庁にて→視察テーマ「気候変動対策について」 視察項目「東京ゼロエミ住宅の取組について」	
18:00	本会議場傍聴席（議事堂7階）から視察、15分程度 後ほど、展望階視察可 夕食) 飯塚市長合流（計10名） 宿泊) ヴィアインプライム赤坂（東京都赤坂2-6-17 TEL:03-3505-5489）	朝食付き
1月24日(水)	3日目	備考
9:30	集合・出発) 宿泊施設 徒歩orタクシー)	
10:00 ↓ 11:30	衆・参議院会館にて会派要望活動 衆議院議員2名 参議院議員3名（国会議員5名）	
13:15 到着後	タクシー) →浜松町→羽田空港第1ターミナル（モノレール） 昼食) 空路) 羽田空港【14:15発】⇒JAL285⇒出雲縁結び空港【15:45着】 解散) 出雲空港	